

# 第1回 大阪市在宅医療・介護連携推進会議での主な意見及び本市の対応

## 【在宅医療・介護連携支援コーディネーター】

委員名	主な意見	ご意見に対する本市の対応
横手委員	在宅医療・介護連携支援コーディネーターの立ち位置についてイメージしにくい	地域ケア会議や区役所などが開催する会議、退院カンファレンス等に出席することにより、コーディネーターの役割を周知し、理解を深めていく
北村委員	開業医の先生とはかなり連携は取れてきているが、大病院になるほど連携に課題がでてくるため、病院とかかりつけ医が連携できる体制に期待したい	各区コーディネーター間で効果的な取り組みを実践している活動例を紹介するなどの情報共有を図っているが、各区の推進会議において、区の状態に応じた取り組みの検討を進める。 また、各区の在宅医療・介護連携支援コーディネーターと病院の地域医療連携室が連携し、入院医療と在宅療養が一体的に提供できる体制の検討を進める。
北村委員	介護側としてはターミナルや難病など医療依存度の高いケースへの対応が弱い ため、後方支援をお願いしたい	各区の現状を把握し、必要に応じて区役所と協働し、医療介護の多職種研修会の開催や必要な情報提供を行うっていく また、スムーズな連携の在り方についても各区において検討する
北村委員	医療に弱いケアマネジャーは、医療機関へのつなぎ方が分からない	

## 【区役所】

委員名	主な意見	ご意見に対する本市の対応
濱田委員	医療と介護の資源の「質」について、きっちり把握していかないと連携は進められない。	今回の各区における取り組み状況の調査項目に質の部分を追加した 今後は資源の把握だけでなく、その質の充実も含めて各区の推進会議において検討する
立石委員	各区で取組んでいる（ア）（イ）（カ）（キ）の事業項目をしっかりと取り組んでもらえるよう周知徹底してほしい	ワーキンググループを立ち上げ、区役所実務者向けのマニュアルを作成する 区実務者研修会も引き続き開催し、内容の充実を図る
西田委員	各区で立ち上げている推進会議で、行政側の出席者のばらつきや連携できている関係機関にも差がある	

## 【健康局】

委員名	主な意見	ご意見に対する本市の対応
西田委員	会議の種類が多いことやメンバーが重複していることに課題がある	福祉局と調整中であり、ご指摘された課題の解決に向けて努める
立石委員	個人情報取り扱いについて、手引き等に詳しく提示してほしい	手引き書への加筆については、次回改訂時（29年4月予定）に向けて検討する 現状では、毎月1回開催しているコーディネーター連絡会にて、毎回口頭で注意喚起を行っている